

天文学の扉を開こう

10月の夜空

【皆既月食】

旧暦8月15日の「中秋の名月」に続いて江戸時代の人々が楽しんだ月は、旧暦9月13日の「十三夜」の月でした。今年は10月6日がその日です。二つの月は必ず同じ場所で見えるものとされ、どちらか一方の月だけを見ることは「片見月」と言われて、忌み嫌われていたそうです。十三夜の2日後、十五夜を迎えるお月さまは、必ずしも満月になるとは限らないのですが、今年はまん丸になります。月と太陽が地球をはさんで正反対の方角に来る瞬間を「望（ぼう）」と言い、望の瞬間を含む日の月を満月と呼んでいます。10月8日の望は19時51分で、月の出は17時10分頃ですから、「本当の満月」を見ることが出来る日になります。ところが、この日は明るい「本当の満月」にはなりません。なぜなら、望のとき、月と太陽の方角が正反対だけでなく、間に地球が入っているからです。そう、月が地球の影に入って「皆既月食」が起こるのです。

これは、2011年12月10日の深夜に見られた皆既月食から約3年ぶり、今度は19時24分頃から20時24分頃までの、子どもたちも観察しやすい時間に、1時間ほど見ることが出来ます。次の皆既月食は来年4月4日で、これもまた早い時間に見ることが出来るものの、ごく短時間です。そんなわけで、今度の皆既月食は、ここしばらくの間では一番観察しやすいものになります。

そして、ひとつ「おまけ」がついています。それは天王星です。双眼鏡や望遠鏡で皆既中の月を見ると、近くに他よりも明るい星が見えることでしょうか。時間が経つにつれて、月から離れていくように見えるはずですが。普段は探しにくい天王星も、このときばかりは月を手がかりに見つけやすくなっています。月と天王星は、大きさも距離もまるで違いますが、同じ太陽系の天体です。皆既月食とともに、昔の人が想像もしなかった太陽系の景色を眺めてみてはいかがでしょうか。

10月のぐんま天文台のイベント

- ・ 4日(土)
携帯カメラやデジカメで月を撮ろう (第4回)
- ・ 8日(水)
皆既月食観察会
- ・ 11日(土)
講座「魅惑の太陽系」第1回「彗星と小惑星」
(講師：国立天文台・渡部潤一副台長)
- ・ 11日(土)～13日(祝)
バックヤードツアー「太陽分光器と小型望遠鏡」
- ・ 18日(土)、25日(土)
みちくさツアー (屋外での星空解説)
(ボランティア自主企画)
- ・ 28日(火)
県民の日イベント「未来の望遠鏡」

○星図の説明

10月15日午後9時の高山村の星空。月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも同じ星空になります。(月を除く。)



幻の迷蝶 「アサギマダラ」飛来

9月10日(水)道の駅「中山盆地」の「アサギマダラ休息地」で迷蝶「アサギマダラ」の第1号第1頭が確認されました。

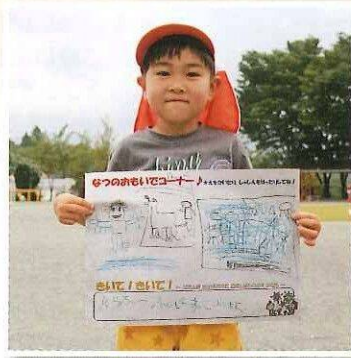
本村で休息し体力をつけ、再び南へ飛来していきます。
※アサギマダラとは？

夏の暑いときは日本本土へ、冬の寒いときは沖縄や台湾まで何千キロも渡っていく蝶。羽が特殊で、サインペンで場所と名前を記録することができます。飛来して別の場所へ行ったときに、どこから飛来したか確認できるようになっています。



リトルミュージアム

高山幼稚園5歳児の作品
夏休みの思い出を描きました！



やまぐち つきと くん



はやし せな ちゃん

わが家のアイドル

※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(^^) ☎26-7944(直通)



判形 平形 優くん(2歳)

僕の名前は「ひろ」です。

心の優しい子、家族を大切に、みんなに愛されますようにと名付けてもらいました。大好きなパパとお兄ちゃんとサッカーや鉄砲ごっこをして遊んだり、散歩をするのが大好きです。

ちっちゃいおばあちゃんの作った「おいなりさん」やとうもろこしを両手でもって口いっぱいにして食べちゃう食いしん坊です。

妹の優乃ちゃんが生まれてからは、一生懸命に面倒をみてくれるので、ママはとってもうれしいって喜んでくれます。

こちら「5代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは！第21期緑のふるさと協力隊の関根菜規です。だんだんと寒くなってきましたね。鼻水が止まりません(笑) もうすぐコタツの季節になりますね。気を付けなければならぬことがあります。

私の場合、コタツに入るとやる気が吸われ、何もやりたくない！つてなってしまう。今のうちから気を付けようと思います。でも、たまにはいいですよ？

確かにそうだと思いましたが、農業や高山の歴史のことを、知れば知るほど、知らないことが山積みで、あと半年でいっぱい勉強しようと思えました。

9月4～6日の2泊3日で緑のふるさと協力隊の中間研修に行ってきました。もう協力隊としての一年間の折り返し地点になってしまいました。本当にあつという間でした。半年振りに同期の協力隊に会って、太っている人もいれば、日焼けでこんがり焼けている人もいて、みんな田舎で頑張っているんだと、良い刺激を受けました。同期との会話で印象に残っている言葉を一つ紹介します。「村のことを知れば知るほど、知らないことが沢山出てくる」という言葉です。私もそれを聞いた時、

とでもリフレッシュできた2泊3日になったので、気合い十分です！協力隊として高山村にいられるのも残り6カ月。一日一日を大切に過ごして、何事も楽しく活動できたいと思います。

みなさん、これからも引き続きよろしくお願います。

高菜っちゃんブログ <http://taka-midori05.jugem.jp/>

